



平成13年度（第11回）出席者記念撮影

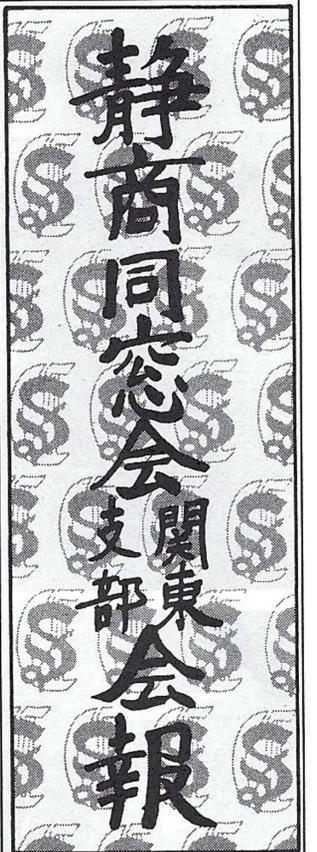
上から昭和32年以前卒者、中段 昭和33年～42年卒者、下段が昭和43年以降卒者

# ヒューマン・ハーバー（人間港）

静商同窓会 関東支部

寄港する百六十余名 二十一世紀の海原へ出港

平成13年（第11回）  
総会・懇親会  
築地スエヒロで開催



発行人  
静岡県立静岡商業高等学校  
同窓会 関東支部  
(静商同窓会関東支部)  
〒108 東京都港区三田3-4-10  
-0073 TEL 03(5443)1235  
FAX 03(5443)1236

編集  
関東支部広報部会  
平成14年5月28日発行  
(毎年1回・5月発行)  
題字 湯本克巳氏  
第11号

関東支部総会が平成十三年七月十四日(土)に、築地スエヒロで開催された。百六十一名が参加し、総会では会務報告・会計報告、そして、予算案が承認された。本年は役員改選の時期にあたり、満場一致で海野支部長ほか現役員が再選された。その後「ヒューマン・ハーバー(人間港)」と銘打たれた楽しく賑やかな懇親会が行われた。

今年、十二回目を迎える関東支部の総会が、七月十三日に開催される。場所がこれまでのスエヒロから変わって「鉄鋼会館」に移る。また、開始時間も一時間早く、午後二時からの開始

今年の総会は  
場所(鉄鋼会館)と  
開始時間が変わります

7月13日  
土曜日  
14:00～

である。今年もより楽しい出会いを求めて、より多くの参加を期待したい。  
詳しくは、9頁をご覧ください。

# より楽しい同窓会にしよう！

支部長 海野 昭 (S30年卒)

平成十三年度の総会で関東支部支部長に再選され会員皆様のご支援ご協力をいただき、「より楽しい同窓会にしよう」という合言葉で活動を続けてまいりました。その他の役員も全員重任していただきましたが去る二月、中村副支部長の急逝という真に悲しい出来事がありました。

彼は関東支部の創立当初から「会計」という重責を担われ、平成七年からは副支部長として、すべての面で誠実かつ精力的に活動してきてくれただけに、貴重な人材を失い、ぽっかりと大きな穴が空いてしまったという感じがしております。しかし、静商同窓会関東支部会員は、まさに多士済々であります。弁護士、公認会計士、IT関係企業の社長や役員、金融関係や一般事業会社の社長ならびに役員、大学教授、女流書家、院展の画家、プロ野球選手、作家、デザイナー、歌手など枚挙に暇がありません。

こうした第一線で活躍する現役、OG、OBの優れた素晴らしい方々が、関東支部を盛り上げていくために、毎年、有形無形のご支援ご協力をしていただき、大変嬉しく、誇り高い気持ちにさせてくれます。

日常の活動としては、

- ①七月の総会と懇親会
  - ②充実した会報の発行
  - ③ゴルフ会、歩く会、カラオケ会などの同好会
  - ④会員の拡大と消息の把握という地道な活動
  - ⑤母校生徒の部活動の応援
- などあります。これらの活動を通じて、支部創立の目的達成のために、一歩ずつ前進しつつあり、明るい未来が開けて



H13年の当番幹事を担当された  
S13年・33年・43年・53年卒の皆さん



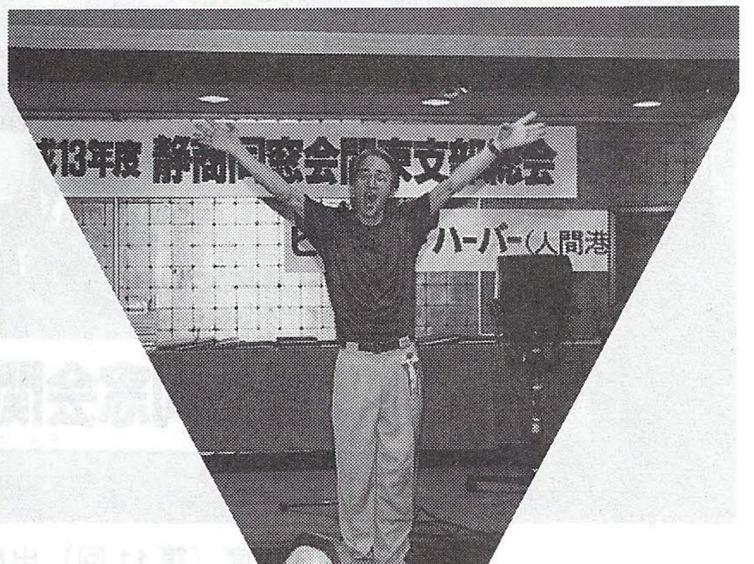
楽しい懇親会の司会を務めてくれた  
林和義さん(S43年卒)

できているものと信じます。嬉しいことに、これらは一部の方々のみでなく、すべて自主的なボランティア精神に溢れた皆様が、少しずつ分担してやってきてくださっていることです。そこに大きな意味があると思います。同窓会をもっと楽しくするために、どうぞ、これからもお知恵拝借、そして、行動を伴ったご支援ご協力を、お願いいたします。

総会で再選され、  
挨拶される海野支部長



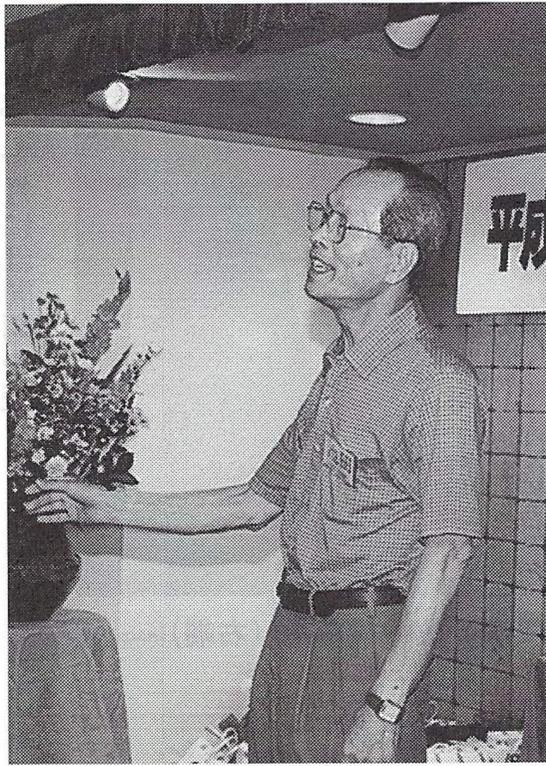
肩を組み 歌い合いました、かたり合いました



応援歌～！ 第1～！



校歌斉唱  
波メロデーを、声高らかに、奏ずれば



いつも見事な  
池田さんの指揮で

船頭がいつぱいの  
静商同窓会・白龍丸  
今年も盛り上がりました  
平成十三年度 総会・懇親会



懇親会では、空クジなしの大抽選会で当たった賞品を、互いに見せ合いながら楽しみ、持ち寄った「卒業アルバム」を眺めて懐かしみ、恒例の黒はんぺん、しらす、桜えびに、今年は「静岡おでん」が新登場して、懐かしい味に舌鼓、多彩な催しが好評でした。でも、裏方はご苦労が多かったとか。

静岡おでん  
が新登場



ますます元気な  
甲田先輩の乾杯！  
の音頭で懇親会が開演



母校の十河教頭、茨城から富田恩師、同窓会本部から桜井会長、澤田副会長が列席くださいました。

お手を拝借、関東一本締め、よーっ！

老若男女 みんな輪になって



# 悼む 偲ぶ

## 故 中村 達郎君

### を偲ぶ

木佐森 達夫 (S32 年卒)

二月十一日、同期の宗野君から訃報を告げられた。十二月に会って温泉治療の話聞いたばかり……茫然とした。一月には同期の磯



昨年と同窓会で、元気な笑顔の故中村さん (右端)

尾道市に住む平上洋子様からの便り (4月)

謹啓

2月18日に他界いたしました 姉 勝又節子を送るよう今年には桜が早く咲きました。長い間姉を励まし、支えていただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。

姉は、皆様の心温まる励ましにどれほど力づけられ、励まされたことか。ただ一人の姉との別れには身を切られる思いでした。この悲しみがいつになったら薄らぐのかわかりませんが、私たち家族と過ごした、たくさんの思い出を大切に、残されたものとして、しっかりと生きていこうと思います。

どうぞ、いつまでも 姉 節子を忘れないでください。

謹白

花一輪 供えて 私の旅支度

みんな、みんな 本当にありがとう 節子

故 勝又 節子さん (S36 年卒)

## 故 中川 尚子さん 追悼の記

秋山 卓男 (S35 年卒)

三月十九日の消印のある封書が来た。差出人は株式会社創林社となっていた。さて？ 何の手紙かなと思いつつ、開封して読んでみると、同期生の中川尚子さんの訃報であった。「去る二月十九日午前五時五十五分永眠いたしました。なお、葬儀は二月二十日近親者のみにて相済ませまし

た」とあった。文末に俳句五句と短歌が二首記されていた。心を打つ作であった。

中川さんとは、静商同窓会関東支部を通じ知り合っただ。在学中はクラスが一緒にならなかつたが、顔は知っていた。年に一度の関東支部の総会で何回か会って同窓会の終わりの頃、同期の連中と一緒に軽く一杯やりながら話した。出版社で編集の仕事をやっているだけであつて、なかなかの理論家であつた。創林社出版の「生きていく野川」という本を、同窓会場で購入し読んだ。良い本であつた。

昨年と同窓会で会ったとき、ガンであると話していた。例年のごとく同期の連中と、場所を変えて飲んで、話し合い散会した。別れ際に「来年もまた、同窓会で会いましょう」と言うのと、ちよつと寂しそうに笑つてうなづいていた。これが中川さんを見た最後であつた。ご冥福を祈る。彼女の生前

の作品を紹介する。

黒猫の ひざに

柔らかな 二十四時

枕辺の 花の色香に

はげまされ

柿落ちる 命の音の

深さかな

淡々と 商談のごと

癌告知

浮舟に 癌と旅寝の

闇枕 (やみまくら)

紅葉の 燃ゆる生命の

山ひだに 神をも癒す

地の精気かな

佐助を 一輪備前に

投げ入れし 花の白さが

清やかに佇つ

二〇〇一年十二月二十七日

中川 尚子手帳より



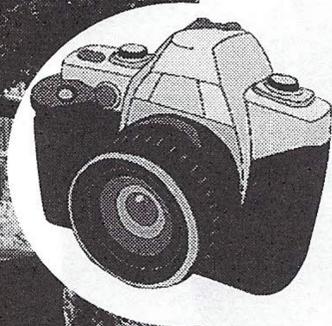
同期の仲間にもまれて  
昨年と同窓会での故中川さん (写真中央)

# ふるさとを訪ねて

撮影  
藪崎 久仁子  
(S36年卒)

ことしは、桜の花が早く咲き、季節の移ろいがわからなくなっています。  
この写真は、故郷の静岡を訪ねて撮ったものです。  
焼津の「花沢の里」で、万葉からの古道だそうです。

時代が変わっても、何か変わらぬ心のふるさと、古き良き時を映す、落ち着いた集落でした。



## 充実した大学生活

--- 後輩よ 一度は故郷を出でよ ---

酒井 陽一郎 (平成13年卒)

昨年の三月に母校を巣立つてからは、この一年は本当にあつという間でした。高校三年当時は、見慣れぬ土地での一人暮らしというものに、かなりの不安を抱いていましたが、一年たつた今、そのようなことを思い出す暇もないほどに充実した日々を送っています。おもえば、この頃はものを書く習慣が少なくなっていました。

大学での勉強状況はというと、いま現在、日商一級を目指しています。その他にも金融論や会計学、情報処理概論などにもがんばっています。



一人暮らしは自宅通いと違い、親にしていってもらったことを、すべて自分でやらねばならず、時に楽しくあるときは面倒でもあります。自炊経験がほとんどなかったのに、料理にはかなり時間を費やしました。でも、初めてかぼちの煮物ができた時は、かなり感動しました。いまはレパートリーも少し増えましたが、野菜炒めは味付けがうまくできず、野菜には火が通るものの、塩コショウのみ

の味付けであったため、食欲がうせていました。それが最近になって母親から「終盤になってオイスターソースを入れるのだよ」といわれ、それを早速試したところ、これが予想以上のうまさで、かなりの衝撃を受けました。これからの様々な料理に挑戦したいです。一人暮らしのアルバイトでの生活に加え、勉強以外の大学生

活も非常に充実しています。それはサークル活動です。僕はバドミントンのサークルに入っています。サークルとは、スポーツにしる、勉強にしろ、共通の趣味を持った人が集まり、練習や勉強をします。しかし、そこには部活のような厳しさはありません。飲み会もあります。僕が所属しているサークルは少し変わっています。わが中央大学にはスポーツ推薦の人が集まって、日々いろいろな大会を目指して精進している、いわゆる部活のような「体育連盟」と、前述したような「サークル」という2つに分かれているのですが、僕のサークルはもともと体育連盟に所属していたようです。それが格下げになったものらしく、

サークルとはいえ、随所に厳しさが残っていて、知らない人が見たら部活と間違えるのではないかと思うほど厳しいのです。でも、その分充実もしている。周りのものが殆んど経験者で、かなり刺激的な環境です。しかも試合が年に7、8回もあり、慶応、早稲田、東大などの交流試合にも出られたり、他のサークルでは味わえない経験ができます。サークルを通じて、いまは日々の生活が充実していると言いたいです。そして、静商の後輩には、一度県外に出ることを勧めたい。静岡に残ることも悪いわけではないが、東京には様々な考えを持った者がたくさんいることが実感できます。それに自分も影響を受け、人間的にもかなり成長すると思えます。一年間で様々なことを吸収しました。この先の三年間も、さらに頑張つて、人間的にもたくましくなつて、すばらしい故郷静岡に戻り就職したいと思っています。

### おススメの一冊

岡田洋美著 鳥影社発行

重度心身障害者を持つ  
つ祐輔君を頭に三人の  
子育て奮闘記。

ナース、母、妻という  
それぞれの視点から描  
かれた骨太のエッセイ

おかあさん！  
ボウをだっこして！



果てしない夢をありがとう。  
介護に大活躍する相棒を贈ってくれる  
ちよつといのおしちゃん……  
「おかあさん！ボウをたっして」  
を応援しています。

巻末に拙輩の読後感が収録  
されています。

矢部 正志 (S54年卒)

# フレイ・ふれー・静岡

## 名門復活へ……期待と現実……

### 応援部会

長谷川 勉 (S29年卒)

「高校生の時から、高校野球ファンの一人でした。一球一球に力を込めるさわやかさと、みなぎる闘志、情熱に心打たれたからです。野球に打ち込める平和で、豊かな社会であることを感謝し、国民に元気を与えるプレーを見せてください」これは、今年の春の甲子園で行われた、第七十四回選抜高校野球大会の開会式で遠山敦子文部科学相が述べられた祝辞の要旨である。この後に、大臣は「甲子園でプレーできるものも、応援してくれる人々があればこそ、ということをお忘れないうでほしい」と付け加えた。遠山敦子さんは、私の出身中学の静岡市立城内中学の一年後輩になる。そのあと静岡高校へ進んだ。したがって、多分「静岡との定期戦」の応援団にも参加していたと思う。開会式はウィークデイであったが、昨年定年となりゆつくりとテレビ観戦ができた。残念ながら、静岡県と、私が今住んでいる地元千葉県からの出場校は無かった。しかし、母校静岡と練習試合をした日大

三校や中京大中京の入場行進を身近に感じた。前年優勝の常総学園(茨城)の主将から紫紺の優勝旗が、大会会長に返還されるシーンがテレビ画面に大写しされた。優勝旗には、年度ごとの優勝校が記された「ペナントリボン」が重厚に添付されている。画面を見ていると、なんと、そこに「静岡商業高校」の文字が、鮮明に映し出されたのである。二十五年以上も甲子園から遠ざかっている母校の校名を見て、懐かしんでくれた全国の高校野球ファンも多かったのではないかと思う。



見城監督(写真中央)、ネットの会の金丸さん(右)

今大会は、報徳学園(兵庫)の二十八年ぶりの優勝で幕を閉じた。表彰式の優勝旗授与の場面でも、葦山高校、東邦高校、そして、再び「静岡商業」が映し出された。広報部から、静岡野球部への期待と現実をテーマにした記事は依頼された。期待については、これまでも3回、甲子園復活を願うその想いを掲載してもらった。静岡高校、島田商業静岡市立高岡など、地元校や、浜松商業、掛川西の公立校、過去に甲子園で対戦したことのある長野商業高校の六十八年ぶりの甲子園出場をみると、その想いは一層深まる。現実を報告するのは簡単なようではなかなか難しい。幹事会で、かなりの印象をお話しているが、活字にすると、それ相応の裏づけと責任が必要だ。私は、関東地方在住者として、母校の試合をよく観戦する一人だと思いが、現況報告で

きるような立場にない。高校野球の応援は、評論家になつてはいけないうと、自分に言い聞かせている。好プレーや好打に拍手することだけを心がけている。したがって、軽率に戦力分析などできないのである。ただ、近年の実績だけを見ると、間違いなく低迷していると間違った見方をする。高校野球では、春夏秋に3大会が行われる。春と秋の大会は、地区予選を経て県大会の出場校を決めるが過去5年間で、県大会に進んだのは平成十一年の秋季大会しかない。それも一回戦で敗退している。春季大会の実績は、夏の大会のシード校を決める。秋季大会は、春の選抜大会の実質的な予選となっている。見城監督になってからはじめての、昨年の夏の大会は、準決勝進出を果たしたのは記憶に新しい。見城監督は静岡野球部七十余年の歴史の中でも、母校出身者以外の監督としては2人目ということだ。話題となった。そして、見城先生と野球部OBのご努力が、着実に戦力アップしているようだ。

今年度の公立高校人事異動で、静岡市立高校から出身校の静岡高校の監督になった畑田氏について、印象深い新聞記事があった。二十六年ぶりに母校のユニフォームを着て2連勝、三十度目の県大会に王手をかけた畑田監督(四五歳)は「こ

のユニフォームを着て静岡とやれるなんて!」と、感慨深げに戦況を見守りつつ、自らの高校時代は公式戦2回戦で終わったライバルに雪辱した後輩たちを、頼もしいに見つめた。と、載っていた。静岡高校は、その後の3回戦で、昨年の優勝校である静岡工業に2対1で勝ち、県大会出場を決めた。

今年のセンバツに「静岡」が映った? 今大会は、報徳学園(兵庫)の二十八年ぶりの優勝で幕を閉じた。表彰式の優勝旗授与の場面でも、葦山高校、東邦高校、そして、再び「静岡商業」が映し出された。広報部から、静岡野球部への期待と現実をテーマにした記事は依頼された。期待については、これまでも3回、甲子園復活を願うその想いを掲載してもらった。静岡高校、島田商業静岡市立高岡など、地元校や、浜松商業、掛川西の公立校、過去に甲子園で対戦したことのある長野商業高校の六十八年ぶりの甲子園出場をみると、その想いは一層深まる。現実を報告するのは簡単なようではなかなか難しい。幹事会で、かなりの印象をお話しているが、活字にすると、それ相応の裏づけと責任が必要だ。私は、関東地方在住者として、母校の試合をよく観戦する一人だと思いが、現況報告で

方へ遠征してきた時に、お祝いや差し入れを行っている。部員数の増加による予算の増額を検討する必要がありそうだ。今年の春季大会は、四月二日から地区予選がスタートした。原稿締め切りぎりぎりとなったが、最新の公式戦の結果をご報告したいと思いい、静岡まで足を運んだ。

1回戦は川根高校に、三対一で大勝、この余勢で2回戦は、静岡高校と対戦した。2年生エース大沼投手の好投で接線に持ち込み1対1の同点で試合は最後まで進み、9回に力尽き、2対1で惜敗した。しかし内容的には押し気味で、強敵静岡高に善戦したことが、これからの大きな自信になったと思う。

今年度の公立高校人事異動で、静岡市立高校から出身校の静岡高校の監督になった畑田氏について、印象深い新聞記事があった。二十六年ぶりに母校のユニフォームを着て2連勝、三十度目の県大会に王手をかけた畑田監督(四五歳)は「こ

伝統校である母校の野球部を、熱心に応援している人たちが大勢いる。試合だけでなく、毎日の練習もネット裏に陣取ってみている人が多い。静岡卒業生以外



陳列ケースに並んだ栄光の数々

### 見城監督率いる五十四名の野球部員

今年度の公立高校人事異動で、静岡市立高校から出身校の静岡高校の監督になった畑田氏について、印象深い新聞記事があった。二十六年ぶりに母校のユニフォームを着て2連勝、三十度目の県大会に王手をかけた畑田監督(四五歳)は「こ

### 静岡野球部 ネットの会

伝統校である母校の野球部を、熱心に応援している人たちが大勢いる。試合だけでなく、毎日の練習もネット裏に陣取ってみている人が多い。静岡卒業生以外

の、静岡野球が大好きだといふファンが多い。選手の中学校での活躍や実績も熟知している。この人たちの会話は、チームの状況を知る上で欠かせない。中でも「静岡野球部ネットの会」の人たちは、ことさら熱心である。十五年前に有志が集まって結成され、ピーク時には50人以上の会員を有していた。加齢化などにより現在の会員は33名となっている。その活動は実に活発である。ネットの会の会則には、その目的として、静岡野球部をこよなく愛して、名門復活を目指し後援するもの、と記されている。會長の金丸一郎さんが、今日までネットの会をリードしてきた。金丸さんは80歳を超えられても、いたって元気だ。余程の事情がない限り、練習試合を含め全試合観戦している。関東や愛知・岐阜遠征にも出かけていく。だから、静岡野球の全てを知り尽くしている。ちなみに、金丸さんは静岡卒業生ではない。ネットの会の総会が三月末日に母校の図書室で開催された。昨年新会員になった私にとつては、初めての総会であった。卒業後46年になるが、母校の校舎に入るの、初めてである。感慨深いものがあった。校舎は新築され、当時の面影はないが、野球部などの部活動の実績を展示したケースを見て、甲子園への思いを一層強くした。総会では、事業報告、会計報告、役員改選などあり最近の試合結果や、その状況も話し合われた。昨年の夏の大会のベスト4に躍進した実績で、その内容は熱気のあるものになった。有望な新入部員も多く、大いに期待できるといふことであつた。このような雰囲気を感じ、表題である「期待と現実」について次のように結論付けたい。「上昇機運にあり、甲子園復活は決して夢ではない」

# 雑感

## 剛健進取の 気概をもって

肩たたき、リストラ、出向などの言葉がマスコミを賑わしています。

これらの事態を真正面から受け止めざるを得ない五十代のわれわれとしては、心穏やかならぬ状態です。小泉総理の「構造改革なくして景気回復なし」との言葉も、理屈では解からぬわけでもないのですが、いざ



山村利男 (S40年卒)

自分の身に、かような事態が襲ってきたら、どうしようというのが我々の世代の偽らざる気持ちではないでしょうか。

いや、五十代だけでなく、三十代、四十代の方々ものんきなことは言っていられないというのが、実態かもしれない。

団塊の世代のはしりとして、日本の高度成長を、第一線の戦闘部隊として支え、アメリカに次ぐ世界の強国に現在の日本を作り上げてきたのだという、若干の自負を持っている我々としては、やるせない気持ちです。しかし、ものごとを余りにも悲観的に見るといふのもいかなるものでしょうか。日本経済の状態がひところよりも悪化しているといつても、我々の子供の時代と比べて、衣食住ははるかに良くなっているし、生活の便利さも格段に向上しています。

現在のこの停滞の状況は、神様が我々に与えてくれた休養の時間と考えたらいかでしょうか。先進国に追いつき、追い越せと、死に物狂いで働き、

貧しかった日本を、世界の人々から羨ましがれ、米国にも恐れられる存在にさせました。

しかし、もう先進国の仲間入りをしたのだから、休んで、ゆっくりとしたらどうですかと、神様が我々にご配慮してくれたのだと考えたいかがでしょうか。

五木寛之の「大河の一滴」という、最近映画化された本がベストセラーになりました。

同著は、人生前向きに一生懸命生き、皆な一緒になつて、世の中を良くしていくという、従来の積極的な生き方を否定的に考えています。

人間の一生は苦しみの連続だ。

我々は死ぬ時は、ただ一人で逝く。

人は支えあつて生きるのだが、結局は一人で死ぬ。そういうことを覚悟して生きるという、マイナス思考の生き方を説いています。

私はそこまでたつた一回の人生を、暗いイメージでとらえなくてもいいとは思いますが、しかし、ゆっくり立ち止まって、じっくりと今までの人生について考えてみることも必要ではないかと思ひます。

ちよつとここで、腹を据えて、自分を、周囲を見渡してみる。

そこからまた、我々団塊の世代未来が拓けるのだと

開き直つてみてもいいのではないか。肩の力を抜いて、肩ひじを張らずに、しかし、心には「剛健進取」の気概をもつて、これからも生きようではありませんか。団塊の世代の同志達よ。

## 短 信

藤枝支部長  
小山 儀助 氏

関東支部の会報をご送付いただきありがとうございます。私どもの支部も毎年総会を行つておりますが、約千名の会員で、約1割程度の出席です。若い年代まで浸透するのは、なかなか難しいことです。

同窓生の連帯感と、母校に対する意識も大分変わってきているようです。まあ、気長にやるほかありません。関東支部のご発展を祈ります。

## 昭和十四年卒 静岡三八会

### 回想・想い新たに

原川 準 (S14年卒)

我々静岡三八会(昭和十四年卒)では、去る五月十七日、ホテルアソシア静岡ターミナルにおいて、平成十三年度の総会を開催しました。同期生の大半が本年八十歳を迎えます。顧みるに、日中戦争、太平洋戦争、終戦後の混乱期食糧難時代、近くはバブルの崩壊など、波乱に満ちた

平成十三年五月現在

生存者 76名

(内、京浜地区在住者 16名)

物故者 122名

(内、太平洋戦争戦死者 48名)

昭和17年(享年20歳) 1名

昭和18年(享年21歳) 7名

昭和19年(享年22歳) 23名

昭和20年(享年23歳) 17名

昭和17年(享年20歳) 1名  
昭和18年(享年21歳) 7名  
昭和19年(享年22歳) 23名  
昭和20年(享年23歳) 17名





# 会計監査の仕事

## 公認会計士

秋山 卓男 (S35 年卒)

そのためには、大学の商学部に入學して、試験勉強をして、公認会計士第二次試験に合格しなければならぬ。このようにして、高校3年生になってから大学受験勉強を始め、なんとか横浜市立大学商学部合格することができた。

### ■公認会計士に合格する

さて、それから紆余曲折があり、公認会計士第二次試験にやっとのことで、昭和四十三年に合格した。現在は明和監査法人代表社員であり、こちらの方で会計監査に従事するとともに、秋山公認会計事務所所長として、税務会計の業務を行っている。

私が公認会計士という制度を知ったのは、静岡商業高校三年生の時だった。「会計」という授業がありその教科書の一番後ろに公認会計士の監査制度について説明されていた。

資本主義経済の主な担手は企業である。企業には個人企業と法人企業がありさらに、中小企業と大企業がある。会計監査が義務づけられているのは、商法上資本金が5億円以上または負債の部の合計金額が200億円以上の株式会社である。この商法監査以外に、証券取引法により、証券取引所に上場されている株式会社は公認会計士または、監査法人（以下会計監査人という）の監査を受けなければならない。これらの方の監査を、証券監査といい商法監査よりも歴史がある。

### ■粉飾を見逃がさないために

証券取引所に上場されている会社はすべて、株式会社であり、公開企業といわれ、株式が自由に売買される。株式の取引価格は企業の業績に左右される。子の企業業績は「財務諸表」によって公表される。この財務諸表は企業が責任をもって作成するが、企業にのみ任せていると、事実を曲げて都合の良いように作成される恐れがある。そのようなことがないように、その企業とは利害関係のない、独立の立場にある会計監査人が、会計監査を行い、監査報告書によって、財務諸表が、企業の財政状態と経営成績を正確に表している旨の意見表明を行うのである。

株式の売買を行う投資家は、監査報告書によって適正なことを証明された財務諸表を信頼して、安心して株式の売買ができることになる。制度としては、このようにすることであるが、この制度が必ずしも健全に運行されているわけではない。会計監査員が粉飾を見逃すケースもある。ほとんどの場合、被監査会社が倒産したあとで、その事実が明らかになる。

### ■経済の健全な発展のために

事実、現在ある企業の監査を担当した監査法人に対し、訴訟が起こされている。アメリカ合衆国では、エンロンが倒産し、会計監査を担当していたアーサー・アンダーセンが関係書類を破棄したために存亡の危機に立たされた。監査事務所でも世界的な規模で監査をしている法人が、5つある。その一つがアーサー・アンダーセンである。米国だけで一六〇〇人のパートナーと数万人の職員がいる大組織であるが、信用の失墜によりクライアントで監査契約を打ち切るところが相次ぎ、また、天文学的数字になるであろう損害賠償額により、存続が危ぶまれている。

倒産した場合、株価値は限りなくゼロに近づき、最後に株券は紙くずとなる。投資家は利益が計上されて購入した財務諸表を信頼して購入しているのだが、実態は数年前から赤字であり、そのことが財務諸表に表示されていないことがあった。会計監査人が、そのことを知っていないが、虚偽表示の財務諸表に対し、適正意見を表明しているとなると、会計監査人により、損害賠償責任が生ずることになる。損害賠償金額は何十億円、何百億円と巨額になる可能性がある。そんな場合、大手の監査法人でも損害賠償金が払えずに破産に追い込まれることもあり得る。

### ■根気のいる地味な仕事

人類の叡智が考え出した、政治は「民主主義」、経済は「資本主義」、理念は「自由主義」ということである。この中の資本主義経済の健全な発展のためには、資金の効率的な収集と分散機能が必要である。この機能は証券取引所を解してなされるが、これを会計監査人の会計情報の真実性の保証という業務が支えている。

このことを世の中の多くの人々が知らない。ただ企業倒産の問題が起きたとき、会計監査の重要性が新聞紙上にぎわす。監査の実務は、会計伝票と領収書や請求書、納品書

### ■ますます複雑に責任は重く

単独財務諸表から連結財務諸表へと開示の重点が移り、時価主義会計が大幅に取り入れられ、有価証券も時価で表示されるようになった。棚卸不動産も時価が大きくなり下落した場合は、評価損の形状が義務付けられるようになった。さらに、平成十五年三月期の決算より、企業の存続可能性について、会計監査人は意見の表明が必要になった。

会計実務はますます複雑になり、責任はますます重くなってきた。社会主義経済が一世紀を駆け、地球の半分の地域を巻き込んで、多くの血と汗の犠牲を伴った壮大な実験が終わり、種々の欠陥はありながらも資本主義経済でやっていくしかないことが判明した。二十一世紀、会計監査の担う役割はますます大きくなっていくことであろう。

# 総会と懇親会のお知らせ

平成十四年度 静商同窓会関東支部

今年は、会場も新たに懇親会では、ハワイアンバンド演奏による、夏のひと時を楽しんでいただきます。カジュアルな服装（アロハシャツ、ムームー？も歓迎）でお出てください。

**\*日時** 七月十三日(土)午後一時三十分受付

**\*会場** 鉄鋼会館(地図をご参照ください)  
東京都中央区日本橋茅場町3・2・10

電話 03・3669・4856

**\*総会** 午後2時から

議事 ①平成十三年度会計報告・監査報告  
②平成十四年度予算審議その他

**\*懇親会**

午後3時から5時まで

- ・キャッチコピー「凱歌を挙げて」
- ・バンド演奏 ハワイアンバンド
- ・「根本昭と湘南カイブリーズプラス」
- ・抽選会 ラッキーマンバー抽選会
- ・郷土料理 お馴染みの「黒はんぺん」
- ・お土産 校歌・応援歌を収録した「カラオケCD」(歌詞カード付)を全員に無料配布します
- ・郷土のお土産「わさび漬け」の即売

**\*会費**

女性 八、〇〇〇円(内、年会費二、〇〇〇円)  
男性 一〇、〇〇〇円(内、年会費二、〇〇〇円)

**《ご招待》**

卒業後4年目までの方は懇親会へご招待  
本年度の卒業生は年会費も無料です

**《お願い》**

同封の出欠はがきを6月30日までに投函  
ください  
今回は、名札に「出身中学」も明記して、  
話の輪を広げることになっています。必ず  
ご記入ください。



応援歌

凱歌を挙げて

作詞作曲 大石肇

凱歌を挙げて 意気高らかに

勝利の旗を 翻がえす

剛健進取の 名のもとに

強く 雄々しく 進み行く

いざ 戦わん 勝ちどき挙げて

静商 静商 おお我が母校

**7/13(土)**  
**PM 2:00~**  
**鉄鋼会館**

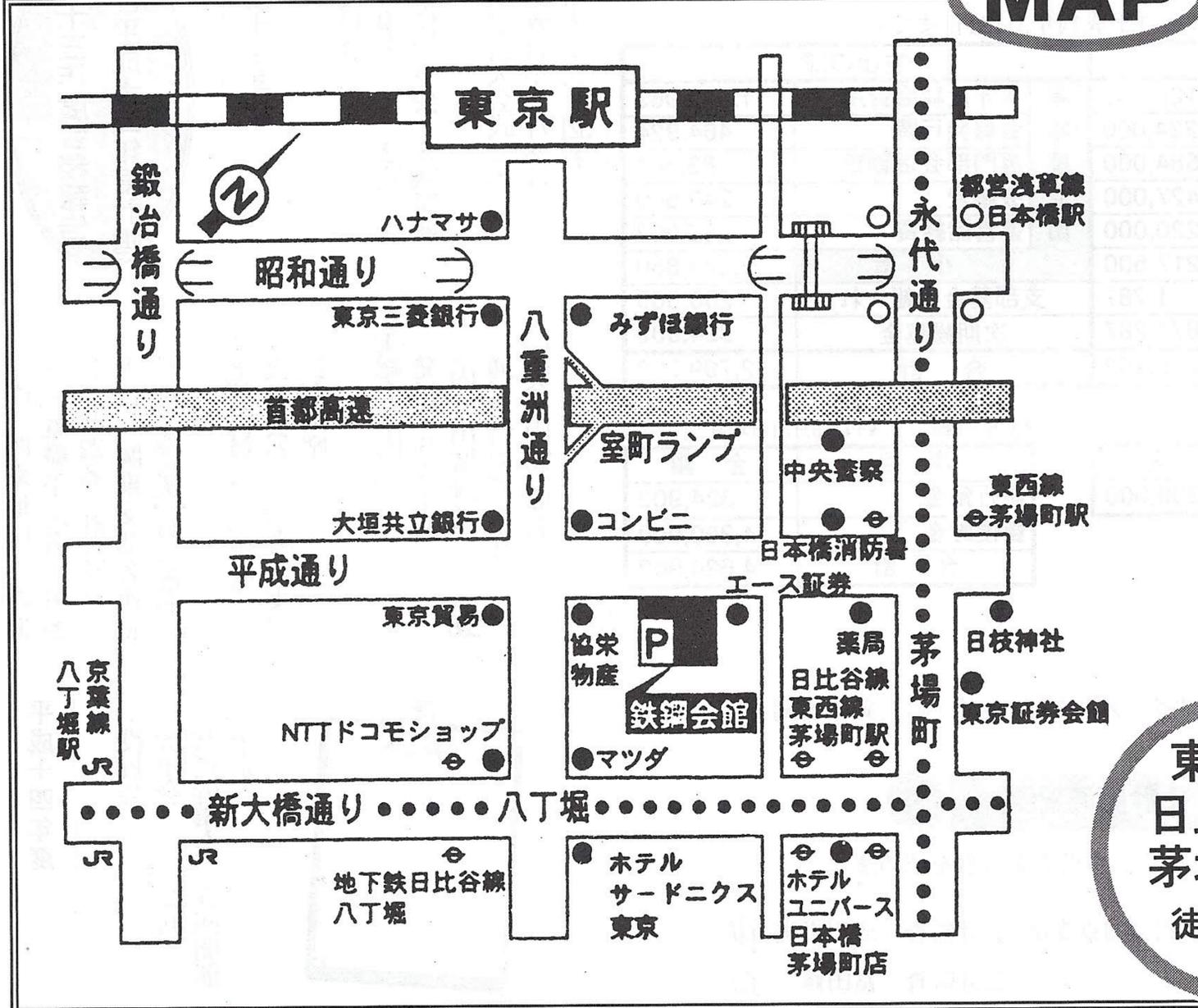
## 鉄鋼会館ご案内

中央区日本橋茅場町  
3-2-10  
03-3669-4856  
<http://www.tekko-kaikan.co.jp>

## 地下鉄

- ・東西線ご利用の方は 茅場町駅下車、12番出口(日本橋消防署方面)
- ・日比谷線・茅場町駅をご利用の方は、1番出口(八丁堀方面) 八丁堀駅ご利用の場合は、A5番出口(八丁堀交差点方面)

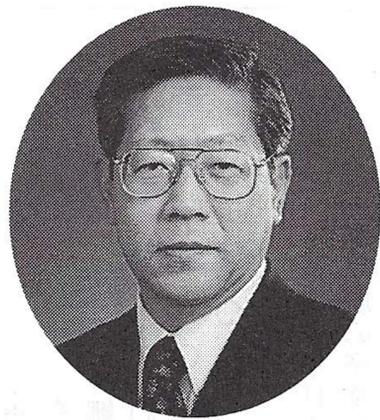
## MAP



**東西線**  
**日比谷線**  
**茅場町駅**  
徒歩5分

# 剛健進取をめざして

静岡商業高校 校長 岡田 修二



このたび、加藤前校長の後任として静岡第二十四代校長を拝命いたしました。静岡は昭和五十六年以来2度目の勤務になります。非力ではありますが、静岡の発展に向けて一生懸命取り組みたいと思いますので、同窓生の皆様方のご支援よろしくお願いいたします。

二十年前振りに訪れた静岡は、すばらしい校舎、すばらしい教育環境に恵まれ、これまで物心両面にわたって温かいご支援を賜った同窓生の方々に心から感謝申し上げます。

四月八日には、新入生二百八十二名が入学し、本年度は全校生徒八百四十六名でスタートいたしました。始業式・入学式では生徒たち「Be Ambitious and be Noble」を提唱し「静岡生よ大きな志を持ち、高潔なる品性を備えよ」と呼びかけました。静岡生は、今年も

随所に活躍を見せてくれることでしょう。

昨年度は、硬式野球部が夏の大会ベスト4、軟式野球部は県総体優勝、東海大会準優勝、女子バスケットがインターハイ出場、男子ソフトテニス部は東海大会団体準優勝、個人でインターハイ出場、柔道部女子個人で全日本女子ジュニア出場、水泳部、相撲部が東海大会出場した他、多くの部が県大会で活躍しました。

一方では、珠算部が高崎と兵庫で行われた全国大会出場、簿記会計部が高等学校簿記コンクール出場、電子計算機部が全国高等学校IT選手権出場、ワープロ部は東海大会、音楽部が東京デイズニールランド・ミュージックフェスティバル出場など、各部が多彩な活躍を見せてくれました。まさに文武両道を目指して生徒は精進しております。学習活動と併せて「剛健進取」を目指したいと思えます。なお、昨今の経済情勢の折柄、生徒の就職活動に關しまして、同窓生の方々のお力添えを切にお願い申し上げます。



<http://www.seisho.ed.jp>

## 平成13年度会計報告

### 1. 一般会計 (平成13年4月1日より平成14年3月31日まで)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	125,465	本年度総会費用	1,422,963
本年度総会会費	1,224,000	会報発行費	464,924
年会費	584,000	専門部会活動費	83,561
寄付金	427,000	会議費	249,500
会報広告収入	220,000	運営諸経費	53,902
総会売上金	217,500	小計	2,274,850
総会売上金	217,500	支部基金に組入れ	200,000
預金利息など	1,787	次期繰越金	324,902
小計	2,674,287	合計	2,799,752
合計	2,799,752	合計	2,799,752

### 2. 基金合計

項目	金額
支部基金	4,300,000

### 3. 財産目録 (平成14年3月31日現在)

項目	金額
銀行預金	324,902
郵便貯金	4,300,000
合計	4,624,902

上記の通りご報告申し上げます。

平成14年4月20日

静岡同窓会関東支部 会計 鈴木啓嗣 (印)

## 会計監査報告

監査の結果、上記の報告に相違なく、適正である事を認めます。

平成14年4月20日

静岡同窓会関東支部 会計監査 成川貞夫 (印)

会計監査 富田修一 (印)

## 平成十三年度会務報告 と平成十四年度計画

### 平成十三年度

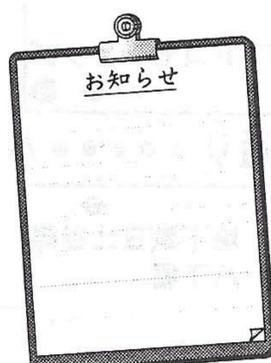
- ①役員会 幹事会 2回  
常任幹事会 5回開催
- ②同窓会入会式 (本部) 平成14年2月28日  
新入会員 321名
- ④総会案内 発送1551通  
(内、出席156通、欠席286通、返信なし1033)  
総会出席数161名

(内、関東地区への進学・就職予定者 男29名 女22名 計51名)  
当日、関東支部会報10号を卒業生全員に配布

③本部役員会への出席 役員会など会合に支部長が出席

### 平成十四年度

- ①役員会 幹事会 2回  
常任幹事会 5回開催



カラオケ&ボウリング

年末恒例

ホワイトライン

白白歌合戦

川守 宏(S51年卒)



私は、昭和五十一年卒業の川守宏と申します。現在ビクターエンターメントより「ふたり宿」「駿河湾」をリリースし、歌手活動をしております。静商同窓会関東支部の皆様方には、幾度となく総会の折にお世話になり、誠にありがとうございます。今回もボウリング大会に出席させていただきます、尚かつ、栄えある「優勝」をいただきますして、誠にありがとうございます。

日頃ボウリングなどやることもあまりないので、成績など考えず運動不足解消のつもりと思っていたところ、思いがけず好成績を出すとが出来ました。

そもそも私がボウリング大会に参加させていただき

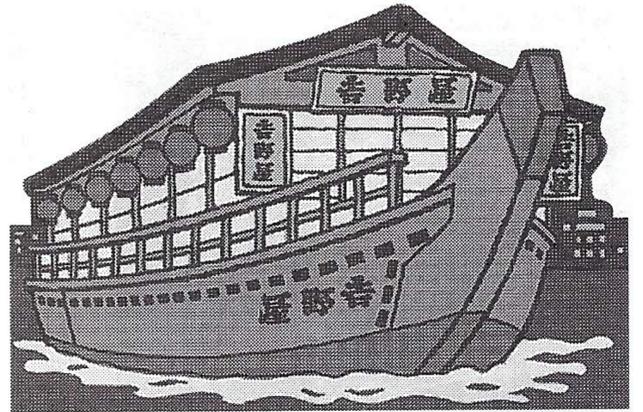


も、関東支部の皆様とお逢いできたというご縁を大切にしていきたい、末永くお付き合いをさせていただきたいとの思いからでした。職業柄なかなか催し物に参加できませんが、スケジュールの都合がつく限り出席させていただきたいと思

最後に一つ、私も今年二月より、静岡市内に引越ししまして、「川守宏音楽事務所」を設立いたしましたので、歌謡ショーなどのイベントがある時は、ぜひともお声をかけていただきたいと思います。今後共、よろしく

カラオケ同好会&歩く会

楽しきは  
友が集いて屋形船  
歌い、花見て  
酒を酌む時



齊藤まり子(S48年卒)

今年も過去50年の中で桜の開花が一番早かったそうですね。

恒例となった、歩く会、カラオケ同好会合同屋形船で隅田川の桜を見る会(やけに長い)も、桜満開を狙

って、昨年から日程を組んでいきましたが、みごとにはずれ、がつくり！  
でも、前日まで雨の予報だったのに、多少風は強いが快晴。チヨ一晴れ男、晴れ女がいるにちがいない。今年も総勢二十五人、四十二年卒の山口先輩(女性)が静岡から同級生のきれいだころを五人も誘って参加いつもより屋形船の中も花盛りって感じ。

それにしても、お世辞でなく、静商の先輩女性陣はそろって、若くてきれいでおまけに明るくて、素敵です。私も歳を経て、素敵な先輩といわれるよう、前向きに生きなくちゃと、いつも思います。

女も男も四十過ぎたら、自分の顔は自分で作ると思いますよ。生き様が顔にでるんです。散りつつある桜を愛でながら、こんなことも考えておりました。

いつも参加してくださる先輩方が不参加でちょっと寂しいなって思っていたところが昭和十三年卒の甲田大、大先輩、二十三年卒の関大先輩、二十七年卒の望月大先輩の参加で、当時の静商の様子など、お話いただき、すごく盛り上がりました。本当にありがとうございます。

恒例のカラオケでは、いつも「隅田川」を歌ってくださる岩崎先輩が不参加だったので、若輩ながら、変わ

りに歌いましたが、セリフになると、どうも照れて色気をだせません(ていうか、照れなくても色気ないんだよ、byカラオケ同好会会長)岩崎せんぱーい、来年は来てくださいね。  
ちよつと、風が強くて船がゆれ、桜も葉桜ではありましたが、この世の春を充分堪能した数時間でありました。もちろん二次会はカラオケ！ 甲田先輩の貴重なカラオケ皆さんに、お見せしたかったです。

日頃、仕事に追われていて私にとつて、SCの方たちと「波メロデイ」を歌うひとときが、とても楽しく大事な時間です。  
願わくば、来年は満開でありますように！



# 多摩川を歩く

## 歩く会



望月 秀雄 (S30年卒)

多摩川を4回のリレー方式で、天空橋から上流に向かって歩きました。

第1回目は、二月十八日参加者十名、京急線天空橋駅から東急線多摩川園駅まで、十四キロメートル

初日は、二月には稀な暖かい日に恵まれ、天空橋駅前を十時十五分にスタート近くの多摩川と海老取川の交差する羽田の漁師町にある「多摩川弁財天」をバックに、まずは記念撮影。その後、全員元気一杯に大師橋、六郷橋、多摩川大橋と進み、ガス橋手前の水辺で楽しいお弁当、午後は新幹線を越え、丸子橋で今日のゴール多摩川園駅に着、三時過ぎに次回も同じ場所に集合し、再会を約し解散。



第2回目は、3月十一日参加者十一名、東急線多摩川園駅から小田急線泉多摩川駅まで、十二キロメートル

今日は、前日までの北風が吹く寒い日が嘘のように暖かな好天となり、十時一五分近くにある多摩川台公園へ、公園内の「亀甲山古墳」や「多摩川台古墳群」の展示館を見学し、付近の歴史に触れながら記念写真を撮った後に歩き始めた。

十二時ごろ、二子玉川の河原・兵庫島でお弁当、穏やかな昼下がり、河原敷での少年野球やサッカーを眺めながら、のんびり歩き、十四時三十分ごろ、今日の目的地小田急線泉多摩川駅に到着、次回の再会を約し解散した。

第3回目、四月一日、参加者は十二名、小田急線泉多摩川駅から京王線中河原駅まで、十三キロメートル

前日、東京では何年振りかの桜満開の中での雪が降り、日中も気温が3度という大変寒い日だったので心配していたが、当日は、うって変わってぽかぽかの春本番となりました。多摩川の土手では、どこも満開の桜の下で、お花見、バーベキュー、草野球、ソフトボールなどで賑わう中を、気持ち良く歩きました。

仕上げは、曾我企画部長紹介のサントリービールの工場見学に立ち寄って、いろいろなビールの試飲をさせていただき、大変結構なほろ酔い気分、十六時解散した。

第四回目、五月十三日、参加者十一名、京王線聖蹟桜ヶ丘駅から青梅線東中神駅まで、十七キロメートル

朝から五月晴れで、目にする若葉の中、全員元気よく歩き始めました。当初の最終目的地は、多摩川上流域となる立川日野橋の予定でした。しかし、皆さんの調子が良すぎて、青梅線の東中神駅まで行ってしまいました。

午後四時過ぎに、駅前のレストランで、ビールで氣勢を上げ、四回に亘った多摩川歩きの無事達成を祝った。最後に、副支部長の関塚さんの感想を「置き去られ 歩く道の辺 青葉風」の歌で締めくくられ、解散した。



**カラオケ同好会**

入会・参加申込みは  
青木洋一まで

静商同窓会関東支部  
同好会へのお誘い

**歩く会**

お申込みは、望月秀雄まで  
0424-87-1497

TEL. 03-3450-8156

**ゴルフ同好会**

本年度の秋季定例コンペは  
平成十四年十月三日(木)  
那須小川ゴルフクラブにて

お申込みは、ちこう知光敬矩まで  
FAX 042-365-3340

### 三浦半島 観音崎・浦賀をたずねて

秋山 八重子 (S30年卒)

歩く会で、三浦半島観音崎方面を歩く企画を聞いて、同じ横須賀市に住みながら、まだ一度も訪れたことがなかったのが、喜んで参加した。二月半ばの寒い時期なので、お天気が一番心配でしたが、比較的温かく、曇り空ながら、時おり薄日も差



なぜか、この写真の中に同窓生でない方が一人紛れ込んでいたというハプニングがありました。

すハイキング日和でした。

観音崎灯台入口までバスで行き、小高い山の上の灯台まで歩いてすぐでした。小さな灯台のてっぺんから東京湾を行きかう船や小さな島、房総半島を眺めてから、山道を下って、たたら浜海岸に着いた。そこで食事タイムとなりました。

海岸は、波もなく穏やかで、岩場に腰をおろし、弁当を広げました。上空高く悠々と「鳶」が飛んでいましたが、突然弁当の肉をめぐらして一直線に急降下して、あつという間に肉を加えて逃げていってしまったのは驚かされました。

食後、ゆっくりと休憩をとって、再び海岸沿いに浦賀を目指して歩いていきました。海辺には獲れたての「わかめ」が干してあり、潮の香りいっぱい吸いながら歩いていきますと、小高い崖に「鷲」がたくさん樹にとまってにぎやかに鳴いていました。

浦賀の港は、湾の奥まで細長く距離があり、途中を小さな渡し舟で渡り、浦賀の「灯明堂」を見て、久里浜へと向かいました。

みなさん、健脚揃いで、長い道のりでも疲れも見せず、楽しく歩きました。帰りには小雨に会ってしまいました。歴史と海の香りを感じる一日でした。

### 御岳山

日の出山・吉野梅郷へ



御岳神社にて  
健康と健脚を祈願

山田 五郎 (S31年卒)

三月十日の関東地方は晴天に恵まれ、四月上旬の暖かさであった。

集合場所は、青梅線御岳駅である。山歩きとのこと参加者は健脚自慢の八名であった。

御嶽駅から十分ほどバスに乗り、滝本駅から六分御岳山に着いた。

さらに、リフトで富士山峰に登り、参道沿いに茅葺家屋が点在する間を通り、厳しい階段を登り御岳神社に着いた。

各自参拝し、記念写真を撮影して、次の目的地日の出山に向かった。九〇二メートルの山頂には、丁度昼時になった。山頂は大勢のハイカーで食事をするスペースもないほどであった。木陰に場所を見つけ、海野支部長の差し入れのスパゲティを小鳥のさえずりを聞きながら昼食をとった。食事が終わり、三室

春溢る 御岳と梅郷

池田 博之 (S27年卒)

歩く会

山に向かって山道を歩いた。樹の根っこを利用した階段は上下が多く、慣れない私にはきつかった。途中、池田先輩のオカリナによる校歌「波メロデー」を聞きながら、梅ノ木峠を通り、吉野梅郷に向かった。梅の公園は、うめ祭りが開催されていて、紅白の梅が咲き乱れて、大勢の観光客で賑わっていた。梅の香りをききながら、帰りの駅日向和田駅から電車に乗った。案内書にはファミリー向けになっていたが、久しぶりに歩いた私にとっては少々きつかったが、心地よい疲れであった。家に着いて万歩計をみたら、25,000歩になっていた。



# 同期会

だより

東京辰巳会

## 八年ぶりの同窓会

鈴木 啓嗣 (S34 年卒)

平成十三年十一月十日は生憎の雨の降る寒い日であった。早めに出掛けて、六義園内の紅葉を楽しもうと考えていたが止めにした。

勝手に幹事になって、八年ぶりの同期会をレストラ六義園で開いた。「東京辰巳会」のメンバーは五十余名いる。その内の出席者は、女性四名を含めて十四名と、ちよつと淋しい。

しかし、何か手伝うことはないかと、開始時間よりずっと前に集まってくれた仲間がいたのには嬉しかった。

平成十四年度の運営幹事を一緒にやる五十四年卒の五名と、曾我企画部長にも参加してもらい盛会となった。



今回の連絡で、すでに二名の方が黄泉の国へ、体調不良で五、六名の方が出席できないことがわかった。あの時は元気な顔をみせていたのに……と、八年間の歳月は意外に多くのことを含んでいたのだと、痛感した。

すでに仕事を離れ、自由な時間を楽しんでいる者、まだ、現役で頑張っている者、孫の写真を見せていたおばあちゃん、気が置けない仲間と、二十年の隔たりを感じさせない後輩たちとの語らひは、カラオケには誰も見向きもせず、料理を食べることも忘れてしまうほどに盛り上がった。

われわれは、十年前にも運営幹事をやった。二順目になるが、今度は新しい場所になるため、勝手がわからない。毎年新しい企画が練り広げられるが、「おしゃ

べりタイム」を長くすることも、古くて新しい企画かもしれないと思つた。

この一週間後の十七日、静岡で「辰巳会」が開催されたが、私は関東支部の幹事会と重なっており、そこからは欠席した。

「辰巳会」は、毎年この時期に開いている。今回は同窓会本部から、澤田副会長と赤石幹事長をお招きして、女性四名を含む、約四十名が出席し、「波メロデイ」での二次会も、例年通りだったとか。幹事には「東京辰巳会」の様子を伝え、記念写真を送つた。

五	十	六	会
六	十	五	歳

古井 隆志 (S30 年卒)

明るい話題の少なかつた平成十三年の秋もそろそろ終わりに近づいた十一月二十三日、勤労感謝の日の午後、関東五十六会のメンバー十六名が、幹事役の佐藤富士夫さんのお世話で、若者の集う街池袋のサンシャ

イン60階通りに面した中央双葉亭で開催された。

参加者全員非常に元気でまずは一安心。アルコールの入る前に記念写真の撮影をした。胸の前には「関東五十六会」のカードを掲げにっこり笑つて一枚。

少々アルコールが入つて舌の滑らかなつたところ、恒例の近況報告が始まる。

さすがに現役を離れた人が多い。趣味の旅行、将棋や碁、麻雀、ゴルフ、お孫さんの世話、植木の手入れ、町内会の役員など、それぞれの知識や経験を活かして、すばらしい活躍をしている様子が語られた。

とはいえ、人間65年も生きていくと、体のどこかに何かしらのものが出てくるのはやむを得ない。運動不足になったり、高血圧症、糖尿病など……多少の不安を抱えているのがごく普通である。病気や健康についての話も、ちらりほらりと出てくる。

私自身は毎日の通勤途上に、1時間程度あるいて、運動不足の解消をしていることと、何でも美味しく食べるようにしている。楽しい食事、そしてグラス一杯のワインを飲んで、一日の疲れを癒す。一番必要なのは、ストレスの解消である。そこで、私は趣味と実益を兼ねて「手打ちそば」を皆さんにお薦めしたい。今

や、健康関連の雑誌や、新聞、テレビでも話題に取り上げられて、ブームにもなっている。

つい先ごろ、東京都多摩市にある病院の院長の牛尾博昭先生とお話する機会があった。先生は、医師会報に半年間にわたり「趣味と私」という題で、蕎麦と古川柳についての記事を載せている。

居酒屋さんの店先で蕎麦を打つて、食べながら、蕙蓄のある話をお伺いした。お医者さんの立場からも生活習慣病予防や治療にも役立つから、ぜひともお薦めしたいとおっしゃっていた。

また、蕎麦の中に含まれる水溶性ルチンは、ビタミンPといつて、食物では蕎麦からしか摂れない貴重な栄養素である。特に毛細管強化や弾力を守り、出血を防ぐ効果がある。高血圧、動脈硬化の予防にもなる。

だから、「蕎麦湯は必ず飲むようにしなさい」とも話された。そば粉に水を混ぜて、手でこねて、出来上がった生地を、包丁で切つて出来上がり。そんなに難しい作業ではないが、一汗かくのに十分な運動になる。たいした道具も要らないので、皆さんも一度お楽しみあれ。

会の方はアルコールも適当にまわつたところで、自慢の喉を聞かせる「カラオケ大会」となり、締めは校

歌「波メロデー」を奏ずれば「ト」を大声で合唱して、会も閉幕となった。

そして、「五十六会」のカードの順番を並び替えて「六十五会」の写真撮影。65歳中心の会になりましたが、これからも66、67、68……と永く続くことを祈念した。

### 編集後記

この会報の編集をご担当された中村達郎前副支部長が逝かれた。一昨年、中村さんの後を引継いだ。色々とおアドバイスを受け、叱咤激励していただいたお陰で、何とか発行にこぎつけた。「よくできたね」と一言いただいた。

今年の第十号に、中村さんがつづつてくれた、どこかの同窓会報にも負けない「会員のための会報」「同窓会活動を記憶する媒体」である会報作りを目指していきたい。

今回も、多くの方々からの寄稿で助けられた。いただいた記事が紙面の都合で次号に回さざるをえなかつたほど。お許し願いたい。それだけ、関東支部の皆さんの活動が活発だという証だ。

その活動が「紙面に記録記憶できたでしょうか？ 教えてください、中村さん」

(平井&小林)

# 湯けむり研究会

## 35年ぶりの修学旅行

# 嵯峨沢館

高塚 年明 (S42年卒)



一昨年の関東支部総会に出席して以来、久しぶりに多くの同期の方々とお会いすることができました。

また、学年を前後した先輩、後輩の方々を久しぶりにお見かけし、しばし静商時代に戻ることができました。自分も、同窓会、同期会などの若いころの思い出にひたる年頃になったのかなと思います。最近では格好をつけず、「良いものは良いのだ」と素直に認めています。前回の総会のあとで、同期が茶店に集まり、談笑していた席で、私が「もう一度、修学旅行をやろう！」温泉でも行こう！と切り出しました。すると、まさに全員一致で賛成ということになり、私が幹事となりました。旅行会の名前については、当初「美男美女の会」とも考えましたが、それが事実で、相応しいかもしれないが、この年齢にもなったら、奥ゆかしさ(?)も必要であろうということから、私が仲間同士で作っ

話しに戻ります。お宿は三十八年卒の先輩、植田麻巳さんが大女将をつとめる、奥伊豆の超高級旅館「嵯峨沢館」に決めていました。メンバーは、赤津(旧姓増田)澄江、木下(村松)孝子、西沢(山田)秀子、山口(野中)ひろみ、の美女4名と、小林幸義、高山康明、長島喜久男、村上恵作、森本豊仁、吉野秀男、と私、高塚年明の美男7名の総勢十一名の美男美女であります。

この名前の著作権は私が所有しています。実は、もともとは「日本温泉学会」という名前でした。表向きは、学者・研究者が一晩温泉にひたって研究会を開くという目的であります。本音は酒を呑んで芸者を呼んで騒ぎましょうという集まりであります。ところが、ある時、泊まった旅館の社長が宴会の席に現れ「温泉学会の先生方には大変お世話になっております」と挨拶され、しかも、超高級な大吟醸酒を一升置いていってくれました。実ははじめに温泉を研究する「日本温泉学会」が本場にあつたのです。その場は酔った勢いで、本物になりきり、無事旅行を終えました。その次からは、官名詐称(?)にならないよう、私が考案した次第です。さて、本題の同期の方々との「湯けむり研究会」の

いた雰囲気がありました。しかも、大女将のはからいで、3室とも露天風呂付の部屋を用意していただきました。申し訳ありません、車中のアルコールで元気が出たせいで、不謹慎にも「お風呂は混浴! 寝床はサンドイッチ!」と勇んでいたのです。でも、このたたずまいからは、そんな状態は実現できず、きわめて健全でした。

あるそうで、宴会のとき仲居さんに、今度来るための「お忍びプラン」も作ってくださいと頼んでおきました。その後、幹事部屋で二次会がはじまった。部活や修学旅行の思い出話、甲子園に行ったときの話、あるいは「実は、あの時君が好きだったんだけど」なんていう話も飛び出した。こうした冗談も平気で言える旅行会も、また楽しからずやというところでしょう。

翌十八日、東京への帰途に「湯けむり研究会」の今後について話し合った。少なくとも年に1回、できれば2回ぐらいはやろうと基本方針を決めました。最近では、温泉旅行でも格安プランがありますので、実現は可能です。次回はどんな話が飛び出すやら……今から楽しみで。以上が三十五年ぶりの修学旅行報告であります。

十一月十七日(土)に東京駅から本隊を組み、お弁当とアルコールを買い込み、ざ「踊り子号」に乗り込み、のつけから、お弁当にビール、酎ハイ、水割り、で小生はほぼ「出来上がり」状態で、修善寺駅に着き、バスで嵯峨沢まで。そのバス停がまさに「嵯峨沢館」でした。私にとっては生涯で最高の旅館でありました。建物の造りといい、お風呂といい、客層といい、大変に落ち着



「来年の新年会に静岡の連中も仲間」と昨年十二月、同期静岡の有志からなる白龍会が中心の、長岡での一泊の懇親会での約束もあり、今年も引き続きの恒例の新年会が、馴れ初めの「強羅山荘」で開催された。ここに、関東近衛連隊(?)水曜会十

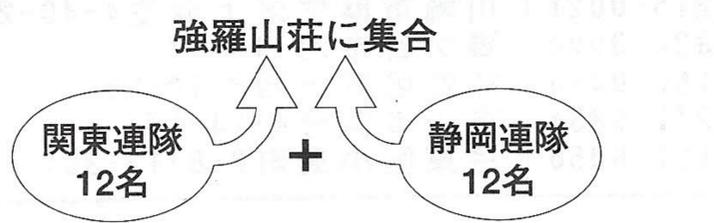
二名と静岡連隊白龍会十二名の精鋭部隊が集会した。闘病中で欠席の同志の報告があった。出席できる我が身の幸せを感謝する会である。日頃の摂生も忘れての飲み食い、そして、アルコール

ルの入った二次会は、カラオケで盛り上がった。居並ぶ白髪頭も静商現役時代の黒髪ふさふさ揺れている様子にダブって見えてくる。「老兵は死なず」の感であります。

**遊箱根**

同友酒宴雪花開  
一杯一杯腹一杯  
立春大吉福更増  
明朝有意出函根

**53期水曜会**  
恒例の新年会  
箱根に集う



# 静岡同窓会関東支部役員名簿 (平成 14 年 5 月 1 日現在)

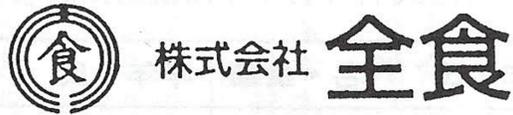
役職名	卒年	氏名	郵便番号	現住所	電話番号
顧問	25.3	湯本 克巳	112-0006	文京区小日向1-19-1	03-3947-8018
支部 部長	30.3	海野 昭子	173-0003	板橋区加賀2-3-1-522	03-3963-5905
副支部 部長	40.3	関塚 仍子	344-0048	春日部市南中曾根800-108	048-754-4743
幹事 部長	36.3	鈴木 皓介	247-0002	横浜市栄区小山台2-34-30	045-893-0912
副幹事 部長	48.3	青木 洋一	140-0001	品川区東品川3-1-21ビッグヴァンポ-ディ7404	03-3450-8156
会計 監査	34.3	鈴木 啓嗣	245-0016	横浜市泉区和泉町7406-8	045-303-5391
会計 監査	27.3	成川 貞夫	359-1145	所沢市山口1031-5	042-925-3435
会計 監査	29.3	富田 修一	270-1435	白井市清水口3-37-3	047-492-7716
常任 幹事	29.3	山田 雅子	321-0951	宇都宮市越戸町123-10	028-662-0017
常任 幹事	31.3	長谷川 勉	274-0804	船橋市みやぎ台4-8-15	047-447-1822
常任 幹事	32.3	宗野 治義	227-0063	横浜市青葉区榎が丘50-8	045-983-6339
常任 幹事	33.3	曾我 和善	167-0051	杉並区荻窪2-28-9	03-3393-0758
常任 幹事	36.3	平井 幸雄	193-0824	八王子市長房町625-26	0426-63-9812
常任 幹事	38.3	杉本 博行	120-0005	足立区綾瀬3-4-9 水村マンション705	03-5682-5696
常任 幹事	42.3	山口 ひろみ	336-0934	さいたま市大谷口5413-12-201	048-873-1086
常任 幹事	43.3	長橋 修郎	267-0055	千葉市緑区越智町705-504	043-294-7907
幹事	13.3	甲田 安太郎	201-0002	狛江市東野川1-24-9	03-3489-5380
幹事	16.3	田中 幸太郎	253-0053	茅ヶ崎市東海岸北2-2-30	0467-82-5972
幹事	20.3	久保 弥六	103-0007	中央区日本橋浜町2-19-1	03-3666-7373
幹事	21.3	嶋田 安雄	274-0065	船橋市高根台4-13-9	047-466-7394
幹事	24.3	後藤 一雄	274-0067	船橋市大穴南1-11-3	047-464-2458
幹事	24.3	森下 壹雄	277-0061	柏市東中新宿3-19-5	0471-72-3864
幹事	24.3	内藤 義人	182-0006	調布市西つつじヶ丘4-23-41-105	0424-88-7803
幹事	26.3	天野 覚	185-0002	国分寺市東戸倉1-18-2	042-323-3248
幹事	27.3	池田 博之	270-1143	我孫子市天王台1-24-10-401	0471-83-0946
幹事	27.3	藤浪 稔央	212-0005	川崎市幸区戸手4-9-2-205	090-3514-4005
幹事	28.3	知光 敬矩	168-0063	杉並区和泉2-7-14	03-6762-7720
幹事	28.3	上山 富義	251-0861	藤沢市大庭5056-6,1-1-1072	0466-86-2941
幹事	29.3	榊原 貞夫	203-0034	東久留米市弥生1-3-23	0424-65-1891
幹事	30.3	望月 秀雄	182-0022	調布市国領町6-24-9	0424-87-1497
幹事	30.3	佐藤 富士夫	276-0044	八千代市萱田町1100-13	047-485-1143
幹事	31.3	一色 正一	215-0012	川崎市麻生区東百合丘1-24-2	044-955-7363
幹事	31.3	渡辺 正忠	242-0011	大和市深見3211-15	046-263-3692
幹事	32.3	木佐 森 達夫	167-0051	杉並区荻窪1-44-19	03-3391-0728
幹事	32.3	織部 忠義	252-0814	藤沢市天神町3-21-8	0466-81-2928
幹事	33.3	薩掛 司勲	140-0011	品川区東大井2-23-4-208	03-3767-1154
幹事	33.3	高橋 武夫	236-0046	横浜市金沢区釜利谷西6-11-7	045-701-2240
幹事	34.3	小長 井 昭	169-0051	新宿区西早稲田1-22-2-306	03-5286-8362
幹事	36.3	小長 井 昭	186-0002	国立市東2-13-21 明生国立ハイム 202	042-575-0509
幹事	37.3	松田 弘三	243-0034	厚木市船子734-22	046-224-7864
幹事	37.3	西島 一三	251-0861	藤沢市大庭5529-8,808	0466-88-4416
幹事	38.3	梶山 一恭	188-0004	西東京市西原町4-5-37-6-707	0424-67-2913
幹事	39.3	清水 豊夫	276-0031	八千代市八千代台北16-10-12	047-405-0916
幹事	39.3	杉山 俊夫	263-0005	千葉市稲毛区長沼町150-32	043-250-6645
幹事	40.3	中畑 稔照	264-0022	千葉市若葉区桜木町264-9	043-233-6450
幹事	41.3	小林 吉豊	234-0054	横浜市港南区港南台1-16-5-101	045-831-7478
幹事	41.3	小松 本	270-1143	我孫子市天王台4-11-23	0471-83-4893
幹事	42.3	高塚 年明	224-0029	横浜市都筑区南山田1-4-3-603	045-593-0193
幹事	42.3	小林 幸義	270-0007	松戸市中金杉1-187-5	047-347-4466
幹事	43.3	鈴木 幸夫	221-0802	横浜市神奈川区六角橋3-15-7	045-491-7322
幹事	43.3	富田 正巳	229-1133	相模原市南橋本1-4-25-104	042-779-3061
幹事	45.3	安藤 隆史	344-0012	春日部市六軒町322-5	048-738-3602
幹事	45.3	山梨 伸公	235-0023	横浜市磯子区森4-15-9-209	045-761-4313
幹事	46.3	大澤 澄江	338-0824	さいたま市上大久保904-10, A517	048-853-6968
幹事	47.3	久村 志之	182-0012	調布市深大寺東町8-24-1-3-104	0424-87-9089
幹事	48.3	渡部 房之	285-0863	佐倉市臼井1800-59	043-489-1355
幹事	49.3	高山 幸雄	272-0106	市川市伊勢野11-24-402 アルファグランデ行徳式番街	047-358-1318
幹事	50.3	杉本 克則	174-0063	板橋区前野町3-20-4-305	03-5392-9768
幹事	51.3	萩原 真子	358-0021	入間市高倉1-9-31-B103	0429-65-5518
幹事	51.3	井上 志子	215-0021	川崎市麻生区上麻生4-49-2	044-954-5455
幹事	54.3	矢部 正志	334-0004	鳩ヶ谷市辻119-17	048-282-6957
幹事	55.3	岩出 小夜子	166-0016	杉並区成田西3-10-26	03-5377-4248
幹事	56.3	小菅 秀子	272-0834	市川市国分4-14-17	047-371-1706
幹事	H6.3	浦田 輝	111-0056	台東区小島町2-8-12-301	03-3862-0409

# 会費・寄付等納入者御芳名 (敬称略:順不動:単位千円)

会員の皆様の暖かいご支援、ご協力に対しまして厚く御礼申し上げます。平成14年3月31日までにご送金頂いた方々の御芳名を下記の通りご報告申し上げます。名簿作成に当たっては、誤字、記載漏れ等のないよう注意をいたしておりますが、万一不手際がございました場合は深くお詫び申し上げます。 (注)氏名の右\*印は総会出席者を示します。

卒年・氏名・金額	卒年・氏名・金額	卒年・氏名・金額	卒年・氏名・金額	卒年・氏名・金額
S6年山本 善一 10	27年池田 博之* 4	31年一色 正一* 2	35年山田 昌之 2	41年吉田 武男 3
7年狩野 金作 10	磯部 信雄* 2	山内 五郎* 2	金子 きのえ 2	坊野 秀美 2
10年若泉 博 2	朝比奈 一郎* 2	塩澤 善之助 2	鈴木 祐輔 2	坊野 やえ子 2
12年山田 順一 2	八木 陽司* 2	小林 悦子 2	市川 幸子 2	42年橋本 孝一* 7
浦田 為雄 2	関根 進一郎* 2	村上 英美 2		吉野 秀男* 5
13年甲田 安太郎* 5	近藤 柳太郎* 2	植田 昌宏 2	36年鈴木 皓介* 17	吉野 ひろみ* 4
14年小林 錠次郎 7	斎藤 健* 2	32年阿井 勝利* 32	増田 勝江* 9	山口 孝子* 4
原川 準 3	浅井 武司 3	中村 達郎* 7	横島 啓枝* 7	木下 陽子* 2
中村 雅夫 2	波多野 克哉 2	宗野 治義* 7	前田 雄幸* 5	北川 幸義* 2
16年田中 幸太郎* 7	望月 健三郎 2	織部 忠義* 7	海野 治* 2	小林 幸義* 2
山崎 保 5	磯部 弘美 2	木佐森 達夫* 5	平井 幸雄* 2	森本 豊仁* 2
大河内 武 2	梅田 定男 2	松井 邦浩* 2	土岐 守行* 2	高塚 年明* 2
寺尾 幸夫 2	浅井 英一 2	堤 正義 2	松下 孝* 2	鶴岡 純代* 2
石川 要一 2	志田 実 2	芳村 昭太郎 2	前山 忠弘* 2	赤津 澄江* 2
17年前田 謙治 2	寺田 勝美 2	齐藤 鉄治 2	大石 康年* 2	長島 喜久男* 2
石月 啓司 2	甲賀 二郎 2	松木 交市 2	大村 三千夫* 2	寺尾 八郎 2
長嶋 敏 2	伊東 越朗 2	石神 佳子 2	小長井 建昭* 2	高山 康明 2
18年石川 孝 2	上田 伸子 2	33年曾我 和善* 7	渡辺 秀世 4	43年長橋 修* 2
20年久保 弥六* 2	石川 昌雄 2	上條 佐恵子* 4	鷺野 喜八郎 2	岩下 喜美枝* 2
21年嶋田 安雄 3	桑原 宏幸 2	大橋 善悟* 2	石井 清史 2	富田 正己* 2
鈴木 恒太 2	28年知光 敬矩 2	薩捶 英司* 2		岡本 朗子* 2
22年比奈地 德三 2	29年富田 修一* 4	杉村 静夫* 2	37年松田 弘* 12	原村 妙子* 2
尾関 忠 2	山田 雅子* 4	高橋 勲* 2	中田 有智子* 4	村松 典子* 2
23年関 勉* 4	内海 知之* 4	増田 昌男* 2	林 喜久次* 2	秋山 八重子* 2
大橋 秀夫 4	三森 光雄* 2	三浦 斌* 2	鈴木 守* 2	鈴木 澄子* 2
後藤 和信 2	永井 賢雄* 2	渡辺 健吉* 2	長谷川 英樹* 2	八木 訓次* 2
24年森下 壹雄* 2	小松 英夫* 2	野呂 誠子* 2	安川 榮子 6	林 和義* 2
石田 德次郎* 2	小林 貞夫* 2	竹内 清* 2	青島 幸一 2	那須野 裕史* 2
後藤 一雄* 2	小原 貞夫* 2	原 芳夫* 2	松田 厚子 2	鎌田 和枝* 2
油井 德二* 2	山岸 光男* 2	高橋 甫* 2	38年杉本 博行* 7	久保田 規夫* 2
内藤 義人* 2	山藪 義男* 2	鈴木 五郎* 2	梶山 恭一* 7	菅原 栄司 10
深尾 孝 5	石川 冲* 2	柴田 弘 2	浅場 利朗* 2	岩本 昭子 2
里見 勝弘 5	宮杉 亨* 2	新村 隆博 2	増田 実* 2	望月 美都 2
山本 昭吾 3	安池 貢* 2	森田 幸子 2	小泉 慧* 2	小林 茂 2
山本 直樹 2	上野山 三平 2	池ヶ谷 栄一 2	亀山 邦彦* 2	46年大澤 伸公* 2
前田 俊夫 2	鈴木 正子 2	本間 好武 2	鈴木 一晴* 2	大野 康彦* 2
木村 日出男 2	興津 高里 2	34年鈴木 啓嗣* 2	吉田 茂夫* 2	稲葉 和男* 2
増田 和也 2	浦山 實 2	小長井 武夫* 2	吉澤 英夫 30	三石 輝子 4
八田 庄一 2	池田 裕代 2	水野 恵司* 2	小澤 昌明 10	斎藤 礼子 2
25年湯本 克巳* 42	田中 恵津子 2	谷本 寛雄* 2	五十嵐 昭夫 2	池谷 和代 2
26年天野 覚* 2	30年海野 昭* 22	常盤 秀樹* 2	花村 磯男 2	47年青木 輝美* 4
和田 匡史* 2	佐藤 富士夫* 4	竹内 祥子 3	互井 まりこ 2	48年青島 正一* 6
村越 英夫 10	大森 泰次* 2	大村 隆明 2	松本 晃治 2	青木 洋一* 2
庄司 靖夫 2	望月 秀雄* 2	桑原 達夫 2	39年川崎 衛* 7	岩城 一恵* 2
長島 宣夫 2	望月 昌房* 2	青木 利浩 2	青柳 秀雄* 4	杉本 芳子* 2
小沢 清三郎 2	薬科 繪造 10	大石 辰夫 2	杉山 俊夫* 2	牛村 優子* 2
吉田 静雄 2	成岡 武 5	岡村 克己 2	40年関塚 仍子* 12	渡部 広志* 2
野中 拓 2	龜山 勝雄 2	田村 富男 2	中畑 稔* 2	及川 のり子 4
27年藤浪 稔央* 32	服部 善男 2	平井 シズヨ 2	神山 孝* 2	小川 えり子 2
成川 貞夫* 4	稻垣 桂子 2	三尾 規子 2	鷺巢 雅彦* 2	相川 雅美 2
	堀田 英夫 2	萩原 卓 2	原 初典* 2	仁田 直機 2
	藤田 実 2	戸塚 薫 2	森谷 綾子 6	依田 寿江 2
	古井 陸志 2	高木 美子 2	石川 小夜子 3	49年高山 房之* 2
	31年長谷川 勉* 7	杉山 光男 2	和田 康男 2	52年本間 邦子* 2
	山田 正彦* 5	35年坊野 清之* 7	服部 克二 2	54年天野 厚* 2
	野沢 多聞* 4	鈴木 春恵* 5	萩原 久子 2	金原 張尚* 2
	渡辺 忠章* 2	秋山 八重子* 4	池田 幸子 2	矢部 正志* 2
	義村 貴一* 2	秋山 卓男* 2	長尾 健次 2	大沼 弘明* 2
	大原 章利* 2	勝亦 常夫* 2	41年小林 吉照* 2	山中 貴司* 2
	紅林 勲* 2	中川 尚子* 2	松本 豊* 2	
	井上 孝信* 2	小林 一男* 2		
		宗野 賢次* 2		

おかげさまで  
**創業 33 周年**  
**職場にレストランを!**



・社員食堂無料診断承ります

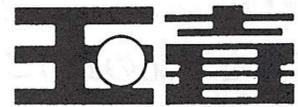
(本社)  
 〒170-0014 東京都豊島区西池袋1-29-5 (山の手ビル)  
 電話 03-3988-3151(代) 担当:営業本部 佐藤

- ◎ **アフターファイブをみんなで楽しく**  
 (新宿南口) カフェ ブランジェ 3379-8234  
 (日本橋三越前) 中央二葉亭 日本橋店 3272-3020  
 (池袋東口) 中央二葉亭 池袋店 3984-5571  
 (船堀) 居酒屋 えるぱりえ 3675-9843

ディナー  
 15%  
 サービス  
 券

酒の現金問屋

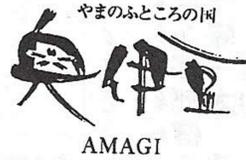
株式会社



代表取締役 小林 貞夫 (29年卒)

〒336-0017 埼玉県さいたま市南浦和3-43-15

TEL 048-881-0628 885-6494 FAX 048-882-0055



自然林と茅葺屋根、11の湯処

日本の宿



〒410-3209

静岡県田方郡天城湯ヶ島町門野原 400-1

TEL 0558-85-0115

植田 麻巳 (幸子改名) (38年卒)

FUJITSU

富士通グループの求人・求職のことでしたら、  
 どうぞお気軽にご相談ください。

**エフサス・クリエイティブ株式会社**

富士通サポートアンドサービス(株) (東証一部上場企業) 100%出資会社

フリーダイヤル



**0120-122-814**

(本社) 〒140-0013  
 東京都品川区南大井6-22-7 大森ベルポートE館7館  
 E-mail ● info@fsascreative.co.jp  
 U R L ● http://www.fsascreative.co.jp  
 (関東の事業拠点) 大森、新宿、新川崎など  
 (事業内容) 派遣事業、有料職業紹介事業、請負事業、人材育成事業

— コンピュータ・ソフトウェア開発 —

株式会社 **エイプルジャパン**

代表取締役 阿井 勝利 (32年卒)

〒108-0073

東京都港区三田3-4-10 リーラ聖坂7F

TEL 03-5443-1235 FAX 03-5443-1236

- 営業所: 東京事業所・福岡営業所・新潟営業所  
 子会社: 鶴翔(杭州)軟件有限公司  
 事業概要: ● コンピュータソフト各種開発  
 ● CALS・EC(電子商取引)・応用・業務・制御システム  
 イン트라ネットシステム・マルチメディアシステムの  
 コンサルテーション、設計、開発、保守  
 ● ユーザサポート(スーパーコンピュータ・  
 大型コンピュータの各種OS)

トイレットペーパー・タオルペーパー・モップ・ウエス及清掃用品  
 各種マット及敷物・スチール製品及家具  
 オフィス文具・事務用品・ビル管理用品・ビル清掃用具

東京都紙商組合員  
**マルミ屋株式会社**

代表取締役 湯本 克巳 (25年卒)

本社 〒104- 中央区佃1-9-11 TEL 03-(3531)-6878・5778  
 0051 FAX 03-(3531)-5771  
 営業所 〒174- 板橋区舟渡4-3-1 新日本製鉄株式会社 東京製造所内  
 0041 TEL 03-(3968)-6841

**三共総合印刷株式会社**

代表取締役 藤浪 稔央 (27年卒)

〒102-0072 千代田区飯田橋3-11-22

TEL 03-3230-4555

FAX 03-3230-4880

広報部からのお願い  
 関東支部の皆様からの同期会や会員の  
 活躍状況、作品などご投稿をお待ちし  
 ています。情報をお寄せください。

hiraisin@par.odn.ne.jp  
 0426-63-9812 (平井)

い  
 い  
 ぞ  
 か  
 い  
 ず  
 ず  
 ず  
 ず  
 に  
 ら  
 ら

今年の総会・懇親会は

H 14. 7. 13(土)

凱歌を挙げて♪

詳細は9ページをご覧ください

お楽しみ  
 ハワイアンバンド演奏  
 ラッキーナンバー抽選会  
 郷土料理  
 おみやげ